

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道136号 土肥拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：静岡県田方郡土肥町八木沢 至：静岡県田方郡土肥町土肥			延長	5.3 km	
事業概要	一般国道136号は、静岡県下田市から静岡県三島市に至る延長約133kmの主要な幹線道路であるほか、地域の産業や生活に欠くことの出来ない重要な路線である。土肥拡幅は、一般国道136号の狭隘区間を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長5.3kmの2車線道路である。					
S61年度事業化	都市計画決定 (都計なし)		S62年度用地着手	S63年度工事着手		
全体事業費	約134億円		事業進捗率	80%	供用済延長	3.0 km
計画交通量	7,800台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.8  (残事業) 5.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/176億円 事業費：24/165億円 維持管理費：5/11億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 166/492億円 走行時間短縮便益：163/481億円 走行費用減少便益：3/10億円 交通事故減少便益：0/1億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・他のプロジェクトとの関係（半島振興対策実施地域） 他8項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道136号は、地域交流の促進、地域経済の発展等に重要な役割を果たすことが期待されており、伊東市をはじめとする関係1市4町の首長で構成される伊豆横断道路建設促進期成同盟会より早期整備の要望（平成15年9月30日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	観光バス等大型車両のすれ違い困難が解消されず、交通渋滞は依然として深刻である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	計画位置は急峻な地形のため、橋梁やトンネルを中心に多額の事業費を要しているが、現在までに3.0kmを部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後、地元からの要望も強い土肥峠工区残区間の事業進捗を図る予定であり、早期の事業完了と効果の発現を図っていく予定である。					
施設の構造や工法の変更等	今後も新技術・新工法等を積極的に導入し、コスト縮減を図れるよう検討していく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。